

学校沿革（概要）

1 設置状況

創立 昭和60年4月1日

開校 昭和60年4月1日

2 開校記念日

7月5日

3 設置状況

昭和55年頃から当地域の人口増を含め、横浜市立みたけ台中学校の生徒増による過密化に伴い、施設校開校の必要性が生じてきた。そして、昭和58年1月に説明会、昭和59年5月にみたけ台中学校鴨志田方面校開設準備委員会が発足した。その後、各種の検討を経て7月5日に工事着工、校名・学区・通学路等幾多の準備の末、昭和60年4月1日開校の運びとなった。

4 校名の由来

鴨志田中学校は、緑区鴨志田町536番地に所在する。この所在地の地名をもって校名とすることが昭和59年6月23日の準備委員会で検討され、12月19日の市議会で正式に決定された。

5 沿革の概要

昭和58年	1月27日	鴨志田方面新設校についての説明会
昭和59年	5月12日	鴨志田方面校開設準備委員会
昭和59年	7月5日	鴨志田方面校工事着工
昭和59年	12月19日	市議会で正式校名「鴨志田中学校」決定
昭和60年	3月2日	体育館・格技場引継
昭和60年	3月14日	校舎引継
昭和60年	4月1日	開校・開校式・祝賀会
昭和60年	4月1日	初代校長 八木下 幸夫 着任
昭和60年	7月5日	校章制定
昭和60年	7月5日	開校記念日とする
昭和60年	10月24日	標準服制定
昭和61年	12月23日	視聴覚室増設引継
昭和62年	2月3日	校舎（3教室）増設引継
昭和63年	2月23日	校歌制定
昭和63年	4月1日	二代校長 野尻 尚三 着任
平成元年	4月1日	「福祉の風土づくりの実践校」指定（2年間）
平成元年	4月1日	「体力づくりの実践校」指定（2年間）
平成2年	4月1日	学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校（3年間）
平成2年	4月1日	三代校長 八巻 順彦 着任
平成4年	4月1日	「德育実践推進校」指定（2年間）
平成5年	4月1日	四代校長 横内 藤男 着任
平成6年	4月1日	コンピューター教室増設引継
平成7年	4月1日	五代校長 福田 紀男 着任
平成7年	4月1日	「福祉と風土づくり推進協力校」指定（1年間）
平成10年	4月1日	六代校長 佐々木 甚大 着任
平成14年	4月1日	七代校長 半澤 幸爾 着任
平成16年	4月1日	八代校長 高橋 功 着任
平成19年	4月1日	通級指導教室開設

平成19年	4月	1日	「人権教育実践推進校」指定（2年間）
平成20年	4月	1日	「小中一貫教育実践推進校」指定（2年間）
平成21年	4月	1日	「パイオニアスクールよこはま（P S Y）実践校」指定（3年間）
平成23年	4月	1日	九代校長 中込 千明 着任
平成24年	4月	1日	学校運営協議会設置
平成24年	11月	29・30日	地域ボランティアによる面接練習開始
平成25年	4月	1日	難聴・言語障害通級指導教室開設
平成25年	4月	1日	「授業力向上推進校」指定
平成25年	9月	20日	第1回 地域マイスター講話の実施
平成26年	4月	1日	「授業力向上推進校」指定
平成26年	4月	1日	鴨志田中学校いじめ防止基本方針制定
平成27年	4月	1日	十代校長 染谷 富美恵 着任
平成27年	4月	1日	「授業力向上推進校」指定
平成28年	4月	1日	「OJT 推進校」指定
平成29年	4月	1日	十一代校長 濱崎 利司 着任
平成29年	4月	1日	「文部科学省研究指定事業」拠点校（通級指導教室）
平成31年	1月	17日	平成30年度横浜市学校保健優秀学校表彰
令和 元年	3月	31日	平成30年度横浜優秀教員表彰（優秀チーム賞・特別支援教育委員会）
令和 2年	1月	25日	令和元年度全国健康づくり推進学校優良校表彰
令和 2年	4月	1日	通級指導教室控室職員室改修
令和 2年	4月	1日	「情報教育実践推進（プログラミング推進）校」指定（2年間）
令和 2年	5月	6日	クロームブック開梱式「Let's start the Chromebook！」実施
令和 2年	10月	22日	市立学校初のオンライン双方向授業（弁護士によるいじめ予防授業）
令和 3年	12月	3日	「いじめ防止市民フォーラム（市庁舎会場）」参加＊北部代表校
令和 4年	7 ～ 12月		I C T機器（Chromebook）端末持ち帰り試行校
令和 5年	1月	14日	部活動地域移行・元サッカー日本代表 城彰二さん来校
令和 5年	2月	27日	「学校情報化優良校」認定（日本教育工学協会）
令和 5年	3月	1日	太陽光パネル発電開始
令和 5年	4月	1日	十二代校長 大山 憲 着任